

## 豊かなサロマ湖と湧別の自然に思いを寄せる旅

今回たずねる“お宝”は、登栄床地区の「登栄床漁港」「竜宮台」「鷺沼原生花園」です。

湧別サロマ湖産の牡蠣が、昨年から“竜宮かき”のブランド名で売り出され、評判になっています。登栄床には、“龍宮伝説”誕生を伝える重厚な石碑と納得の景観が広がる「竜宮台」があり、湧別町は、北海道で唯一龍宮伝説のある町です。「登栄床漁港」ができる前、登栄床は、漁協が副業に椎茸栽培を指導するほど暮らしは厳しく、揺れる小船の狭い船上での作業が辛く、嫁さがしが大変だったという。昨年、登栄床の空に、子どもの誕生を祝う花火が、5回響きました。湧別町には、今、芭露の水芭蕉、シブノツナイ湖畔のエゾカラナデシコなどの自生群落が存在します。「鷺沼原生花園」にも、かつて、アヤメの群落があり、ハマナスが季節を彩っていました…

今回の“旅”は、北海道の漁業を支える豊かなサロマ湖を育てた先人の足跡と美しい湧別の自然との共有に思いを寄せる旅になると思います。

## おすすめ人の案内で“町のお宝”を一緒にたずねてみませんか？

### 登栄床漁港

昭和55年、オホーツク沿岸とサロマ湖内の漁業に対応する基地として完成した登栄床漁港は、5月の稚貝出荷・放流、8月以降の稚貝分散作業など、湧別町と北海道のホタテ漁を支える日本で1、2位の規模を誇る第1種漁港です。

おすすめ案内人

登栄床在住 町元直春さん

### 竜宮台

南は沖縄から全国に40数か所あるといわれる“龍宮・浦島伝説”。竜宮台は、来遊した文豪大町桂月が感動したサロマ湖とオホーツク海の景観と心豊かな登栄床の漁師の行動が、北海道唯一の龍宮伝説を生んだことを伝えています。

おすすめ案内人

錦町在住 嘉藤晃男さん

### 鷺沼原生花園

多くの水鳥が飛来し、アヤメ、ハマナスなどの花が季節を彩っていた鷺沼原生花園が湧別町の最新ガイドマップから消えました。大きく変貌した鷺沼を前に、自然を愛するYu-PALの方から、湧別町の自然の姿と楽しみ方を伺います。

おすすめ案内人

Yu-PAL (絹張洋史会長)

## 第8回我がまち湧別町のお宝をたずねる旅 (共催・湧別町教育委員会)

○実施日 6月22日(土)(雨天決行。およそ2時間30分程度の旅です。)

○集合 文化センターTOM(午前9時受付 9時10分出発)  
文化センターさざ波(午前9時10分受付 9時20分出発)  
※どちらか都合のよい場所にお集まりください。

○参加料 200円(大人のみ。高校生以下の人は無料です。)

○定員 先着45名(大型バスに乗っての旅です。)

○申込み 電話で5-3132(教育委員会社会教育課)まで  
※締切は6月19日(水)(諸準備のため)

## 湖口開削が北海道の漁業を支えるサロマ湖に変えた

冬は大波で打ち寄せられる凍砂が鯨沸(とうふつ)の天然湖口を塞ぎ、春、雪どけで増水した湖の水が凍砂を押し流してオホーツク海とつながるサロマ湖は、鯨沸の湖口から遠い登栄床の漁師が外海に出るのは容易なことではなかった。湖口開削は、登栄床の漁業者の長年の悲願だった。昭和4年4月21日、天佑を得て、悲願の湖口が誕生する。幅180mに及ぶ望外な湖口は、サロマ湖を激変させた。流入する大量の海水は、サロマ湖内の生物の生息環境を変え、ホタテやエビ、カキなどが獲れる日本一大きな汽水の湖にした。

今日、「養殖」「地まき」どちらのホタテ漁業にも必要なのは、稚貝。水温、塩分濃度、振動の少ない海中など、良質な稚貝が育つ環境を有するサロマ湖は、各地に稚貝を供給し、北海道の漁業を支えている。(U)

(資料 養殖漁協「サロマ湖の風」「手引き書」など)